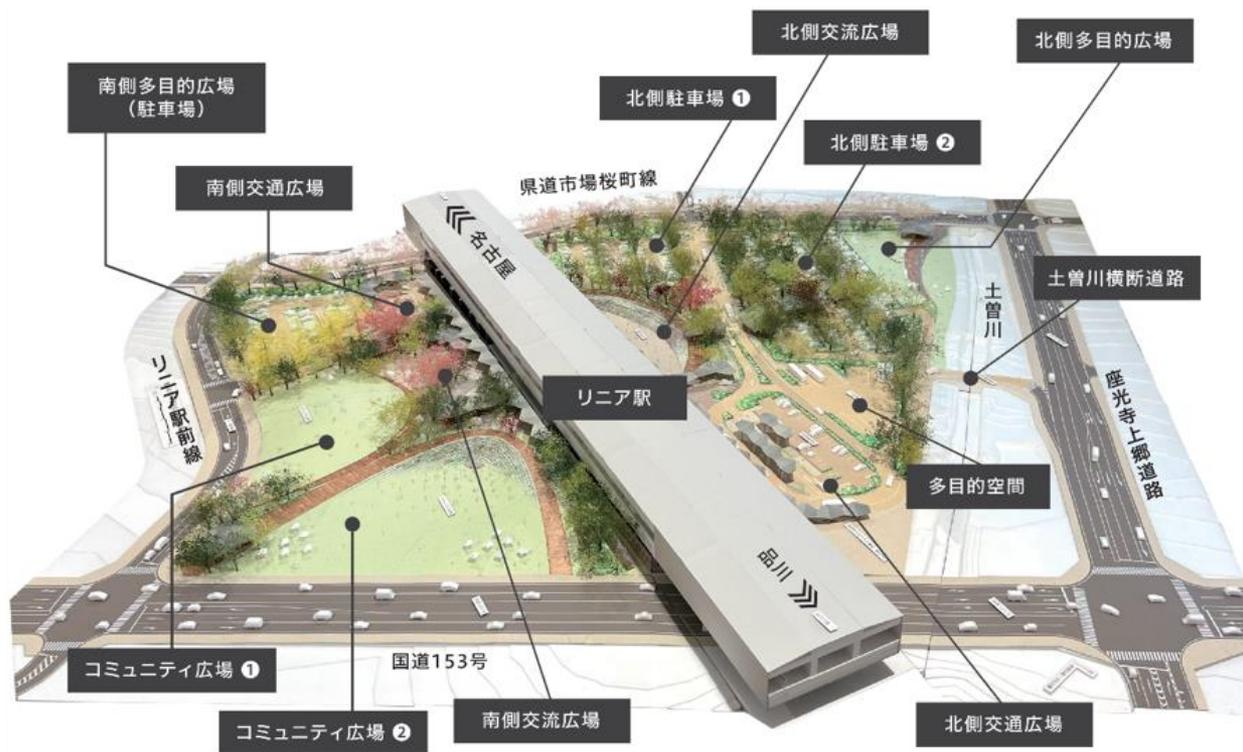


リニア駅前広場活用に向けた検討の進め方について



※駅舎の形状・デザインは、今後JR東海に要望し、協議・検討していくためのイメージです。

1 3つのプロジェクトによる検討体制

トータルデザインPJ

駅前広場整備

● 土木・建築関係

- ・ 広場及び駐車場の整備（広場内の調整池整備を含む）
- ・ 植栽
- ・ 周辺道路整備（土曽川横断道路、リニア駅前停車場線、リニア駅前線）
- ・ 木造の大屋根建築
- ・ 公共施設整備（管理棟、トイレ等）

● 景観形成に向けた検討

- ・ 駅舎や街並のデザイン形成に向けた検討

● 利便性の高い交通体系の検討

- ・ 駐車場システム、カーシェア、レンタカー等の導入に向けた検討

● 新たな交通システムの検討

- ・ 自動運転の実装に向けた検討

● 再エネ・省エネの検討

- ・ 再生可能エネルギーの導入方針・手法の検討
- ・ グリーン水素・水循環技術の導入方針・手法の検討

次世代インフラPJ

新たな交通・エネルギー

公民協働ブランド
クリエイイトPJ
に位置づけ

公民協働ブランド クリエイイトPJ

魅力発信

● 飯田・リニア駅前広場プラットフォームによる検討

プラットフォームの開催、駅前広場活用方針の検討

● 運営事業者の組成に向けた検討

分野別協議・ヒアリング等の実施、運営事業者設立準備会の形成

● 広場内の施設等の検討

施設整備内容の検討、施設規模や施設に必要となる機能の検討

● 情報発信

駅前広場整備及び広場活用の情報発信

2 リニア駅前広場の活用に向けた検討について

目的

- リニア駅前広場の活用や運営について、幅広く意見や参加を募ることを目的として「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」を設立
- 「飯田・リニア駅前広場プラットフォーム」では、以下の考え方にに基づき、官民連携による施設整備や活用を検討

考え方

- ・プラットフォームでは、「つかう目線」で「事業」や「運営」を考える整備に向けた検討を進めていきます。
- ・駅前広場が飯田市や南信州地域全体の経済や観光の好循環を生み出す場所となるよう、「エリアの価値・持続性を高めるための整備」を進めます。

●この3つの視点を大切に、皆さんからいただいたアイデアをもとに、必要な機能や施設について検討を進めていきます。

駅前広場の賑わいの創出

地域経済の好循環

まち全体を見るなかで
駅前広場が持つべき機能



スケジュール

プラットフォームとは

- ・駅前広場活用について関心のある民間事業者や市民と行政で組織し、公民協働で広場の活用や運営方法について検討する場として設置

設立準備会とは

- ・管理運営事業体の母体となる組織
- ・プラットフォームに参画する民間事業者等の中で、広場の運営、維持管理、事業実施を希望する事業者で組織

管理運営事業体とは

- ・リニア駅前広場の管理運営を担う事業者。植栽等の管理や、飲食、物販、イベント開催、その他サービスの提供等が考えられる。

